

新入生を迎えるにあたって

法学部長



ながい 永井 和之
ながい かずゆき

新入生の諸君、今何を考えていますか。その中で過ぎてしまったことを考えている新入生がいるならば、後ろ向きなことは百害あって何の利もないことです。これからの大学4年間は、中学3年から高校3年までの期間に相当します。中学3年の時から自分の生活をやり直せたら、どんなに異なる自分になるかと考えてみるならば、それがこれからの大学生活の4年間なのです。そのように考えるならば、君たちの人生はこれからの4年間の大学生活をどう過ごすかにかかっていると、いいとも悪いとも思います。

考えなさい。社会でどのように生きていくのか、一人で生きていく道を考えているのが、大人への入り口です。この社会は個人個人が生きていく場です。全知全能を使って生きているのです。そんな人間の喜び・悲しみ・苦しみを理解できない者には、社会科学は理解できません。第三に、何事にも興味を持ち、観察し、理解するという態度を継続してください。君たちは未だ知らないことばかりだと思います。何でも知っているつもりにならないでください。好奇心を失ったときに退化が始まります。このようにいわれても実感が湧かないときには、教員をつかまえてください。演習という形で、講義という形でも良いですから、教員をつかまえてください。君たちを未知の学問という世界に誘ってくださることを思います。頑張ってください。

21世紀、さあ課題の発見

経済学部長



いちい 一井 昭
いちい あきら

新入生諸君、ご入学おめでとうございます。皆さんは、21世紀の最初の記念すべき年に、中央大学経済学部の学生として、新生活の第一歩を踏み出すことになりました。元來、総合的な政策判断能力と専門的知見に富む「人材」を輩出するところに経済学系卒業生に対する高い評価が与えられてきました。しかるに、90年代以降日本経済の大不況が続く間に、なぜか経済学系学部の入学志願者が激減してきました。このような厳しい現実への対応は、大学の「あり方」を問う大きな課題です。

は「魂」の部分、つまり教員の提供する教育の質がどの程度向上するか。そして何よりも皆さん自身が課題発見に成功し系統的履修をされるかどうかにかかっています。

21世紀の日本社会と世界のシステムが遭遇している重大な課題が何であるのかに関心を払わないままでは、社会科学系の学問を学ぶ大前提を全く欠落しているということになります。転換の方法は簡単です。皆さんそれぞれの興味あるテーマを、得意な基礎学力や知識を駆使しながら「学ぶ力」を高め、もって「研究」を喜びとすることであり、そのさい演習が重要な場となることでしょう。

中央大学は総合大学です。経済学部の学生仲間のみならず、他学部の学生諸君との交流を深めつつ、皆さんそれぞれのペースで、充実した大學生生活を開始されるよう心から願っております。

悔いのない学生生活を



商学部長

きたむら けいこ
北村 敬子

ご入学おめでとうございます。
桜の花咲く多摩校舎へようこそ。
さて皆さん方は、苦しかった受験勉強から解放され、希望に胸をふくらませて大学の門をくぐられたことと思います。入学したら、あれをしよう、これをしよう、いろいろな計画を立てておられることでしょう。大学院へ進学することを希望している人は別に、ほとんどの人が学生生活最後の4年間を迎えることになるわけです。皆さん方は未だ解っていないでしょうが、人生の中でこれほど自由な4年間は、他にありません。この時間を何に使うかをひとりひとり真剣に考えてもらいたいと思っています。4年間が終わった時に、満足感や充実感を味わえるように、悔いのない学生生活を送ってもらいたいものです。

大学という所は、望む者が望むだけのものであることができる環境を有しています。今までの生活とは違って何を望むかを決定するのはあなた方

です。学問をするもよし、運動をするもよしです。またボランティアもよし、資格を取るために努力するもよしです。それらに力を注ぐ時、一つだけ注意しておいてもらいたいと私が望むことは、何をやるにしてもそれをただ漫然とやるのではなく、将来の自分の進むべき道を求めながらやること、さらに「たんごとく」と決めたら最後までやり通すだけの根性を持つてやることです。

中国に、毎日毎日、晴れの日も雨の日も、ただひたすらお墓の掃除をし続けて悟りをひらいたお坊さんの話があります。「継続は力なり」という言葉も聞いたことがあるでしょう。私などから見れば、皆さん方は全員ピカピカに輝いています。無限の可能性を秘めて、この大学に入ってきたわけですから、何でも好きなことができるではありませんか。

健康にだけは十分注意して、持つて力を思う存分発揮してください。決して悔いを残さないためにも……。

ITの達人になろう



理工学部長

おおく ぼ
大久保 信行

新入生諸君、入学おめでとうございます。理工学部教職員を代表して心より歓迎いたします。

入学にあたり、まずこれからの目標をしっかりと定める事が大切です。社会の高度化・複雑化が進む中で豊かな教養と高い倫理観を高くむよように、総合教育科目と専門教育科目をバランスよく習得するよう心がけましょう。また、これからは理工系だけではなく総合的な知識を持つ事が強く要求されます。今年からは他学部履修制度を拡充しますので、自ら積極的に興味のある科目を探し、総合大学としての利点を活かして幅広い知識を身に付けてください。

さて、諸君が活躍する二十一世紀はどのような世紀になるのでしょうか。百年前エジソン、アインシュタインなどにより相次ぐ発明・発見が生まれ、二十世紀の科学技術は当時の予想を

はるかに超える発展を見せ、工業化社会を実現しましたが、地球環境の破壊など負の遺産も残してしまいました。

二十一世紀はこれらを解決すべく工業化社会から知識社会へ転換する必要があり、そのためにインターネットに代表される情報技術、IT革命が必要不可欠となり、現在飛躍的に進行しています。これは十八世紀の産業革命に匹敵する大きな社会変化をもたらすことでしょう。

理工学部では二年后に新しい高層の校舎を建設し、より一層充実した実験施設、情報環境の整備を図ります。これらを充分に駆使してITの達人となり、国際的に通用する科学技術者として全世界に貢献できるように努力してください。

実り多い有意義な大学生活を過ごされる事を願っております。

他人の痛みがわかる人間に

文学部長



林 はやし
茂樹 しげじゅ

入学おめでとございます。

わが文学部は、今年で創設50周年を迎えます。諸君にはこれまで築き上げてきた伝統を一方で継承しながら、他方で新しい文学部の改革に積極的にチャレンジしてほしいものです。諸君にとって、大学に対する期待は計り知れないものがあるかと思いますが、私たちはそれらの期待に心えつるものと確信しております。多様な化が求められている昨今の社会的趨勢に対して、わが文学部は人文・社会の領域の多くの分野をカバーしているというよいと思っております。ここでも果敢に挑戦をしてみてください。教職員のみならず文献や資料も十分に諸君の期待に心えつる形成に對する積極性をなによりも望んでおります。大学は、「知の森」とも言われています。ですからできるかぎり多くの知識を吸収し、知恵を絞り出して実り多き大学生活

をエンジョイしてください。

最近の若者の言動についてはマスコミ等いろいろな報道や論評がなされていますが、行政側や教育界からも多くの議論がなされていることは存じだと思えます。諸君はそれらの内容についてさまざまな意見を持っているでしょう。そのことについてじっくりと考える時間を作ってください。

現在の若者は、一方でボランティアなどに積極的に参加し、じかに社会的経験や見聞を通して社会を知り、多様な生活や考え方の人々に遭遇しながら自己を磨いている若者と、他方で己の狭い価値観と経験のみで社会を認識している若者もいます。諸君は主体的な人間関係を志向しつつ、自己と他との在り方を十分に考える訓練を大学生の期間に行ってください。そうした経験を積み重ねていく過程で、他人の痛みや不幸を自分のものとして考え、対処する知恵を磨いてください。そうした前提がなければ今日の状況では学問をする価値はないと言ってしまうでしょう。

人類の未来に向けて

総合政策学部長



河野 こうの
光雄 みつお

入学おめでとつ。新しい世紀もいつ

もの年と変わりなく訪れ、同じように時を刻んで進んでいます。時代は確実に大きく変わろうとしています。変化の時代は若者の時代といわれませんが、それは既存の枠組みを打破する新しい発想が若々しい精神から生み出されるからです。もちろんそれは若者に天賦の特権ではなく、歴史を学び時代の限界を厳しく問い続ける知性の属性であります。磨き上げられた感性と鍛え上げられた知性を持たずに、ただ若いだけで時代を切り開くことはできません。いま、「人間とは何か」をめぐる激しいせめぎあいが生まれようとしています。これは、ヒトゲノムの解読が学術的な研究と遺伝情報を特許にやうて独占的に利用しようとする商業目的の研究との競争にやうて「完了」したことに端的に現れています。ヒトゲノムとは人の遺伝情報全体のことで、この解読は生命の設

計図の入手を意味します。遺伝子はその配列でさまざまな情報を表現し、それによて人体に必要な蛋白質を間違ひなく作ります。ガンは遺伝子配列の異常に起因しますが、正常な配列の設計図があれば、病気を遺伝子レベルで治すことができます。その意味で究極的な治療法の開発につながるものですが、一方で、このことは遺伝子配列を操作することでいかなる生命体も作れるということでもあります。こうした遺伝子情報を特許で押さえてしまつことが許されてしまつのであれば、どんな社会になるのか考えることさええためられれます。皆さんはこれから一人一人が広い視野を持って「人間とは何か」の合意を作り出していかなければなりません。皆さんに課せられた課題は、大げさでなく人類の未来そのものを左右するものなのです。自分の興味に自身を閉じ込めることなく、広く勉強してください。